

平成30年度 小学校教職員を対象とする環境教育研修会 実施報告  
「やってみよう！環境学習プログラム」  
第5回「東京の豊かな自然を体感」（テーマ：自然）

- 実施日時 平成30年8月10日（金）10時00分～16時15分
- 受講者数 22名（教員19名、研修・聴講者3名）
- 実施場所 高尾山、高尾ビジターセンター
- 実施内容

【午前】

1. 事務連絡・開講挨拶等

- ・事務局から受講上の注意、全体スケジュール等の説明
- ・環境局総務部環境政策課から開講挨拶等

2. ゲストティーチャーからの講義及び実習

（ゲストティーチャー：森林インストラクター東京会

水木稔氏、村上智裕氏、長谷川守氏、岡本俊彦氏）

- ・【ケーブルカー乗車前】準備体操、班ごとに自己紹介、安全上の注意事項説明など



- ・【慰霊碑広場】ネイチャーゲーム「鳴きまね合唱団」体験





・【慰霊碑広場～1号路】歩きながら、自然観察会を実施



## 【午後】

### 3. 環境学習プログラム「自然に親しむプログラム」の紹介及び実習

(講師：NPO法人 環境学習研究会理事長 谷村春樹氏)

#### (1) 環境学習のポイント ～体験の重要性・森は命のみなもと～

- ・環境学習は、命について考え、学ぶ学習である。子供は実際に物事を体験する中で、理解し、気付き、学んで成長する。
- ・「森は命のみなもと」である。体験を通して、自然に生かされていることを感じ、自然を大切にようになる。
- ・どんな教科でも環境学習につながる。今回の研修会も食やごみ、自然、エネルギーなど様々な入口があるが、出口は一緒である。

#### (2) 自然体験学習のポイント

- ・体験を通して自然の大切さに気付く。
- ・五感が大切。最初に見つけさせる、感じさせる。

#### (3) 「自然に親しむプログラム」プログラム紹介と体験

##### ①「葉っぱ合わせ」概要

- ・数種類の木の葉っぱを2枚ずつ用意して、どの葉とどの葉が同じ木の葉っぱか、色や形、手触り、厚さ、におい等をよく調べて葉っぱ合わせを行う。班ごとに、なぜ同じ葉っぱだと判断したのか、気づいた点などを発表する。



##### ②その他のプログラムの紹介

- ・校庭の自然マップづくり、秋の宝物さがし、冬芽拡大図鑑
- ・「緑の役割を知ろう！」(温度くらべ) など

#### (4) まとめ（質疑応答及び受講者同士の情報交換）

この日の研修を通じて、気づいたこと、感じたこと、授業での活用方法や各学校で実施した関連事例等について、グループごとに発表し、受講者で情報を共有。



#### (発表意見の例)

- ・子供たちに自然を伝えていくには、教師も何度も体験することが大切。
- ・猛暑やアレルギーなどで自然体験が減り、子供たちが自然から離れていくと感じる。
- ・ネイチャーゲームの鳥の鳴き声の聞き分けは少し難しかったが、子供たちは楽しめると思うので取り入れたい。
- ・葉っぱ合わせやネイチャーゲームを学校でも取り入れていきたい。
- ・校庭や近くにある川や森を活用して、自然体験をさせていきたい。
- ・地域や遠足など、あるものを使って取り組んでいきたい。改革を起こしていきたい。
- ・植物は知識がないと難しいが、学級担任と理科専科との連携、カリキュラムマネジメントにより取り入れていきたい。
- ・前回もこの研修会に参加し、高尾山のケーブルカーやタコ杉、天狗伝説、温泉など、環境教育だけとせず、理科・社会・国語を連携させて、学校の授業に取り入れた。

#### 4. 事務連絡、アンケート記入等（事務局）

アンケート提出後、解散